

# 青梅市 自治会・支会 活動事例集

令和4年度版



編集・発行 青梅市、青梅市自治会連合会

## 自治会・支会活動事例集 目次

「笹だんごまつり」 住江町自治会（第1支会）	1
「森下町自治会の活動について」 森下町自治会（第1支会）	2
「防犯パトロールで安全安心を」 駒木町連合自治会長（第2支会）	3
「コロナ禍の中での防災訓練　ーシェイクアウト訓練等、各家庭での避難訓練を取り入れた防災訓練ー」 下長淵連合自治会（第2支会）	4～5
「野上第三自治会　活動紹介」 野上第三自治会（第3支会）	6
「取り組みの工夫　新しい日常」 第3ブロック自治会連合会（第3支会）	7
「梅郷地区市民運動会」 第4支会	8
「梅郷地区総合文化祭」 第4支会	9
「ファミリーゴルフ大会」と「ビーチボール大会」 第5支会	10
「親睦グランドゴルフ大会」 二俣尾五丁目第二自治会（第5支会）	11
「小曾木スポレクフェスタ 2022」 第6支会	12
「富岡自治会活動報告」 富岡自治会（第6支会）	13
「敬老の日に送る」 成木3丁目自治会（第7支会）	14
「第八支会ささえあいフェスティバル」 第8支会	15
「第八支会学校連携授業」 第8支会	16

「ハロウィーンイベントの開催」	
新町5・6丁目自治会（第9支会）	17
「子供たちへクリスマスプレゼント」	
末広町2丁目自治会（第9支会）	18
「第10支会ビーチボール大会」	
第10支会	19
「河辺町4丁目自治会活動紹介」	
河辺町4丁目自治会（第10支会）	20
「藤橋地区市民運動会」	
藤橋自治会連合会（第11支会）	21
「今井地区花火大会 ～コロナに打ち勝つ～」	
今井自治会連合会（第11支会）	22
《参考》	
東京都「地域の底力発展事業助成」	23
今回の活動事例集の中でも、この助成を受けた事業が掲載されています。是非ご活用ください。	

## 自治会・支会 事活動例集の発行にあたって

青梅市内には、令和4年度現在11の支会、164の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市・青梅市自治会連合会

## 笹だんごまつり 住江町自治会

青梅の総鎮守住吉神社に祀られている八坂神社(創建文化十年(1813年)・天王さま)のお祭りで毎年六月の第二土曜日に例大祭を開催。

もともと大黒天(甲子さま)のまつりでしたが、いつのころからか八坂神社(天王さま)の祭礼となり、祭神のスサノウノミコト(牛頭大王)は、荒神として知られその荒々しい靈力で厄災を祓い清める厄病よけの神として信仰されてきました。

笹だんごの由来は、その昔、厄病の発生が激しかった時代に厄除けを願う庶民信仰から生まれたものといわれています。

祭礼では、自治会が八坂神社での笹だんごの販売を行い、子供会・囃子連が太鼓を打ち鳴らしながら行列でお隣りの本町、仲町まで参ります。



八坂神社

また、例大祭に笹だんごをお買い求めいただくかたに紫陽花の花を楽しんでもらうため、町内有志による八坂神社への植樹を進めております。

コロナの発生以来、行われてないお祭りを令和五年に四年ぶりに復活させ、立派に育った紫陽花とともに厄病退散を願う予定です。



## 令和4年度 第1支会森下町自治会の活動について

令和4年度森下町の自治会加入率は、軒数で約90%124世帯です。

町内団体としては、寿会・子供会・体育部・森若はやし連があり、その他に環境美化委員会・評議委員会があります。

年間行事としては、

- |        |            |          |
|--------|------------|----------|
| 4月17日  | 総会         | 本年度は書類総会 |
| 5月2・3日 | 青梅大祭に参加    | 中止       |
| 9月11日  | 熊野・愛宕神社合祭  |          |
| 10月9日  | 第一支会の運動会参加 | 中止       |
| 2月5日   | 谷の稻荷初午     | 予定       |

毎月一回(年間予定)日曜日に資源回収を実施しています。

回覧板を月二回ほど組ごとに回しています。

青梅市のごみ収集票の配布をしています。

防犯、防災の取り組みその他青梅市・東京都の行政のお手伝いをしています。



たけのうちのすくね  
山車人形「武内宿禰」

今年度は、青梅大祭、第一支会運動会などがコロナ感染防止の為に中止となり、その代りに長年の宿望であった事業を青梅市、東京都、JR東日本等の補助金を頂き行いました。

- ・JR東日本、女子美術大学の協力で、青梅市指定文化財で森下町所有の山車人形たけのうちのすくね「武内宿禰」の鎧衣装の修復。
  - ・森下町自治会館のトイレ水洗便座増設、大広間のフローリング、台所の床張り替え、小部屋の畳替え、等の修繕。
  - ・東京都の「町会・自治会による防災対策普及啓発事業補助金」を利用して、啓発チラシ、防災マップ、防災グッズ(ウオータータンク)を配布。
- 等の事業を行いました。

コロナ感染も落ち着いてきたころには、寿会(高齢者団体)では、お掃除会、カラオケ、輪投げ、グランドゴルフも始まり、子供会は森下児童公園のお掃除会も始まりました。熊野・愛宕神社合祭には、森若はやし連によるお囃子で楽しみました。

来年度実施予定の青梅大祭に向けて、山車の点検、人員の確認等の活動が予定されています。高齢者世帯や一人世帯、空き家増加の問題などありますが、今年度は町内に10件の新築住宅ができ、自治会に入会していただけるように訪問活動をしていきます。

# 防犯パトロールで安全安心を

駒木町連合自治会長 見目幸司

駒木町連合自治会では会員の親睦を図る事業と共に、防災や防犯対策など安全安心な町づくりの活動を行っています。

具体的には盆踊り大会、防災訓練、新年祝賀会、資源回収、地域防犯パトロールなど、会員の参加はもちろんです。自治会の専門部、指定団体のご協力をいただき活動しています。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、いくつもの親睦事業等々、中止を余儀なくされました。その中でも密を避け、マスク着用など感染対策を取り継続して行っている地域防犯パトロールについてご紹介します。

## ◎ 実施目的

防犯、防災対策等から町内の安全安心で住みやすい町づくりの活動

## ◎ 実施方法

項目	内容
メンバー	小P・中P・青少対・安協・消防団・自治会役員
実施日時	午後8時頃から、2回/毎月（延べ人数 約140名）
経路・重点場所	町内の暗闇場所・人気の少ない所、神社境内・駐車場など
服装・持ち物	パトロール用ベスト着用・赤色灯・スマホなど
留意点	声掛け・危険場所の早期発見・街灯切れなど
実施後の報告	パトロール参加人数・問題点などを連合自治会長へ報告
関係機関との連携	報告内容により警察、市役所に相談

## ◎ 成果と課題

子どもたちの安全、危険個所の早期発見、交差点の反射鏡新設要望、道路標識の破損修理依頼、一時停止の白線補修依頼、駐車場の整備等々、パトロール結果が報告され自治会理事会で検討し、内容によっては警察や市役所などに相談しながら、改善を図っています。

自治会活動については様々な行事や活動を行っていますので、役員負担軽減も考え、いかに継続していけるかが課題です。

## ◎ むすびに

防犯パトロールに参加していただいている役員の方々に感謝申し上げます。「継続は力なり」

とのことわざがありますが、地域の安全安心で住みやすい町づくりには必要な活動と思います、引き続きご協力いただきながら継続して行きます。



# コロナ禍の中での防災訓練 下長淵連合自治会

## —シェイクアウト訓練等、各家庭での避難訓練を取り入れた防災訓練—

下長淵連合自治会長 宇津木順一

下長淵連合自治会では、毎年秋に防災訓練を実施してきましたが、コロナ禍でこの2年間実施することができませんでした。そこで、本年はコロナ禍の中での防災訓練の方法を「令和4年度青梅市総合防災訓練」の内容を参考に検討し、以下の3点を本年の訓練の重点に掲げ防災訓練を実施しました。

- (1) 今まで訓練会場での訓練が中心であったが、各家庭で身を守る訓練（シェイクアウト訓練）等各家庭での防災訓練、併せて家庭での防災対策についての確認検討を加える。
- (2) 避難訓練の際、無事避難したことを表示するとともに、近隣家庭の無事避難の状況を確認する。
- (3) 訓練会場での訓練では、感染防止に十分な配慮をし、実際の場面で行動に繋がる訓練をする。

具体的な実施内容は次のとおりです。

「午前9時、震度6弱の地震発生」を想定し、避難行動を中心に、次のような時程・内容で訓練を実施した。

- 9:00 地震発生 各家庭で身を守る訓練（シェイクアウト訓練）等を実施
- ・机・テーブル等で身を守る訓練をし、身を守る方法を確認
  - ・揺れが落ち着いたところで、火元確認 ・ブレーカー確認 ・出口確保の実施
  - ・「無事旗」掲出 玄関等に無事と表示
  - \* 「無事旗」は平成26年度に第二支会で作成、各自治会が会員世帯へ配布。無事旗が無い場合を考慮し、今回は、各家庭配付の「下長淵防災訓練のお知らせ」（黄色の用紙使用）の裏面に「無事旗」と印刷し、これを活用してもらう。併せて、シェイクアウト訓練後、次の点検確認を行ってもらう。
  - ・箆箆、戸棚等の転倒防止措置確認
  - ・備蓄品・非常持ち出し袋、非常持ち出し品の点検確認
  - ・避難先（避難場所）、避難経路の確認
- 9:15 各家庭から避難場所へ向けて避難出発
- ・近隣の「無事旗」確認
  - ・近隣の「避難行動要支援者」の安否確認、要支援者へ「声かけ・支援」
  - ・避難場所（訓練会場）、または各自治会の集合場所へ向けて避難行動
  - \* 避難場所（訓練会場）に近い自治会は、安否確認後、直接訓練会場へ移動



\*避難場所（訓練会場）から遠い自治会は、安否確認後、自治会で決めた集合場所へ9:30までに集合、9:30訓練会場へ向けて移動

○9:45 神社境内運動広場集合訓練（受付、検温、消毒場所設置・担当配置）

- ・自治会ごとに参加者受付 氏名記入・検温・手指消毒実施（担当自治会役員）
- ・自治会ごとに整列・参加者確認・参加者数報告・班編成

○9:55 全体訓練 \*各訓練場所に消毒薬配備、訓練内容により代表による訓練

訓練①・消火栓消火訓練（消火栓の扱い方・放水訓練）

訓練②・初期消火訓練（消火器の扱い方訓練）

訓練③・通報連絡訓練（火災、救急の通報の仕方）

訓練④・応急救護（AEDの扱い方ほか）

\*①～④の各訓練を各班20分程度実施、交替

\*→①（第1班）→②（第2班）→③（第3班）→④（第4班）→

（\*雨天時 ②、③、④訓練、講話説明等に変更）

○11:15

・講評 青梅消防署長淵出張所長

・挨拶 連合自治会長

・協力団体の紹介と挨拶 消防団・女性防火防災の会・交通安全協会・民生児童委員等

○11:30~11:40 参加者へ参加記念品配付

○11:40 終了・解散

本訓練の成果と課題としてあげられることは、次のとおりである。

- (1) コロナ禍の中で、従来とほぼ同じ参加者があり、積極的に参加、集中した訓練になった。
- (2) 防災対策の基盤である、各家庭、住民一人一人が参加する訓練になった。
- (3) 感染防止対策が整然と行われた。
- (4) 会員各世帯への周知は戸別配布の通知で行ったが、各家庭での実施状況の把握はできなかった。各家庭への周知方法の一層の工夫改善、実施状況の確実な把握方法の検討が必要である。
- (5) 訓練により、地域の中の消火栓、消火器、AEDの設置場所についての関心が高まり、設置場所についての質問が多くあった。以前、設置場所を示した地図を配布したが、年数が経過し失くしてしまっていると考えられる。一層の情報提供が必要であることが分かった。



全体集合（講評等）

消火栓操作・放水訓練

応急救命訓練（AED）



## 第三支会 野上第三自治会 活動紹介

会長 和山満雄

この2年間は、コロナ感染拡大により第三支会および各自治会の行事がほとんど中止となりました。

今年こそはと期待していたのですが、コロナ感染第7波の影響で行事の開催が通常の形では行うことができず、各支会・各自治会でいろいろ工夫をして一部行事を開催しております。

野上第三自治会は独自行事として、「けん玉教室」と「ボッチャ体験会」を、10月16日に実施しました。

当日は、50名以上の参加者があり、特に子供と高齢者が熱心に取り組んでいただきました。



「けん玉教室」は、日本けん玉協会の松永義希（けん玉道10段）さんを講師にお迎えし、初心者の「大皿・小皿・中皿」から、徐々に難易度をあげて指導していただきました。

曇り空でやや寒い気候でしたが、ひざを中心に下半身を使う「けん玉」で時間が経過すにつれ、身体がポカポカして暑さを感じるほどでした。

当日は、井上衆議院議員、森村東京都議、湖城青梅市議にも技に挑んでいただき、技が徐々に決まるようになり、参加者と一緒に楽しんでいただきました。

「ボッチャ体験会」は、正式競技のハーフサイズのシートを活用して開催しました。

ほとんどの方が初体験でしたが、講習会経験者の指導の下、競技ルール・ボールの投げ方・得点の数え方等体験していただきました。

子供も高齢者も楽しめる競技でしたので、参加者はボッチャに大いに興味を示してくれました。今回はゲームはできませんでしたが、次回以降はチーム対抗のゲームを体験したいと思います。

やはり、自治会は行事を開催し、会員の皆様が一堂に会してこそ、会員同士の繋がり・絆を深めることができるかと再認識しました。今後もコロナに負けず、工夫をしながら自治会活動を盛り上げていきたいと思っております。



# 第三支会 第3ブロック自治会連合会



谷野・木野下・今寺西・今寺榎・今寺第四・今寺第五自治会の6自治会で活動しています。



## 取り組みの工夫 新しい日常



誰もが望む「健康」

過去2年間、例年通りの活動が出来ませんでした。会員の皆さまから「経済社会活動」と「感染症対策」の両立をした地域活動の再開が期待されています。

大門地区市民運動会に代わる自治会員の為の新たな企画

### スポーツフェスティバル 2022

感染リスク防止の為、募集案内はチラシ戸別配布  
当日は雨もあがり天候は曇り 281名(会員世帯参加率 20%)の参加。みなさんと一緒に楽しむ好評で開催できました。

令和4年度は出来る限りの事業開催を心掛け地域の活性化と会員相互の懇親を図りました。 第3ブロック役員 一同



### 第28回ファミリーゴルフ大会



令和4年11月27日



- ◆ 老若男女のだれでも参加できる自治会活動
- ◆ 安心・安全な街づくり

地域活動の新たな担い手を私たちは募集しています。



# 梅郷地区市民運動会

第4支会支会長 古屋孝男

第4支会の運動会は、コロナ禍の影響から令和2年から中止してきましたが、今年は、3年ぶりに畑中、和田町、下郷、中郷、上郷および柚木町の連合チーム編成で、競技種目を見直し半日の日程で第五小学校校庭にて開催しました。

今回は、コロナ禍での開催のため感染防止に関するガイドラインを設けるなどコロナ対策を図りながら、健康増進と地域の親睦をより一層深めてもらうことを主眼におきました。

また、2年間開催していないため不慣れな中での準備となりましたが、自治会役員をはじめ関係団体の協力、支援を受けながら準備を進めることができ、改めて地域の力を実感しました。

当日は、コロナ対策など制約された中での実施ではありましたが、久しぶりの運動会とあって大いに盛り上がりました。そして、運動会の最後には豪華賞品（自転車）を含めた抽選会も行いました。

参加された方からは、運動会ができて良かったとの声をいただきました。



◀ 開会式



▼ 紅白玉入れ



▲ 年齢別リレー



◀ チーム縄跳び



▲ ドリブルリレー



▲ ミニマラソン

# 梅郷地区総合文化祭

第4支会支会長 古屋孝男

梅郷地区総合文化祭を運動会に引き続き、11月13日（日）に3年ぶりに実施しました。

実施にあたっては、体育館内での展示となることから、三密対策に努め、ガイドラインはもとより、これまでの展示方法を見直し、展示物の制限や見学通路を広くとり、順路も一方通行にしたほか、来館者の検温、消毒の徹底を図る中での文化祭となりました。

各種文化団体の活動の成果である作品や小中学生の作品展示のほか、農産物等の品評会および販売も行われました。

子ども連れの方からご高齢の方まで、展示会と農産物等を買いに来られた方を合わせると、延べ600人以上の多くの方にお越しいただきました。

来場された方からは、「目の保養をさせてもらった。」などの感想をいただきました。



コロナ終息への先行きは不透明ではありますが、今後も地域の活性化、コミュニティの醸成のため、感染対策をはじめ創意工夫しながら自治会事業を勧めてまいります。





## 第5支会

青梅市自治会連合会第5支会長 平岡 孝

(自治会数：12自治会、世帯数：772世帯)

### 「ファミリーゴルフ大会」と「ビーチボール大会」

第5支会は、今年度、体育事業の見直しを行い、スポーツ大会等の種目の見直しや競技方法を自治会対抗型から個人・チーム参加型へと変更しました。

#### ○ファミリーゴルフ大会

市民運動会に代え、「スポーツの日」として、9月25日(日)に第六小学校校庭にて、初めての「ファミリーゴルフ大会」を行いました。前日まで、台風15号の影響で開催が危ぶまれていましたが、下は6歳から上は85歳まで74人にご参加をいただきました。賞品は、優勝から第5位まで、また飛び賞、ブービー賞など用意しました。



#### ○ビーチボール大会

今年度は、自治会単位ではなく、チーム申込参加型へと競技方法を代え実施しました。10月23日(日)に沢井市民センター体育館で行い、男女混合で5チーム、親睦で5チームが参加しました。新型コロナウイルス感染症のため、3年ぶりの開催となりましたが、楽しい時間を過ごすことができました。



## 親睦グランドゴルフ大会

第五支会 二俣尾五丁目第二自治会（26世帯）

自治会長 須崎栄男

二俣尾五丁目第二自治会では、毎年11月の資源回収の日の午後（本年実施日11月6日13～17時）に親睦グランドゴルフ大会を実施しています。

これまでは各隣組対抗で実施していましたが、自治会会員数が少なくなったことから、参加人数から適当に4～5人のチームを作り、ラウンドする形にし実施しました。

チームは4チームで、男性3チーム、女性1チームの編成で実施しました。今回の参加人数は18名でした。

高齢者から若手まで幅広い方が参加され自治会内の親睦が図れました。

今後も、継続して親睦グランドゴルフ大会を実施していきたいと考えています。



## 第6支会 小曾木スポレクフェスタ2022

2019年から続くコロナ禍により、小曾木地区においても会議や催し物の開催自粛が長く続いており、とりわけ運動会については2018年の台風19号による中止も含めて3年間開催できておりませんでした。

従前の運動会は、規模が大きく運動強度も高い種目が多かったため、運営側・参加側双方の住民にとって負担が大きいという声があり、今年度は運動会の在り方を見直すこととしました。運動会を廃止する支会も多い中、第6支会では「小曾木地区の住民が交流できる場」を残していきたい思いから新しい形での開催を目指すことになり、名称を「小曾木スポレクフェスタ2022」として再始動することとなりました。



会場正面の様子

自由に参加して気軽に楽しめる催しとするため、主だった種目にはレクリエーションスポーツを採用し、「グラウンドゴルフ」「ボッチャ」「モルック」「輪投げ」「体力測定」「椅子ヨガ体験教室」の他、第七小学校に手配していただいた「ディスクゲッター」を実施し、たくさんの種目を遊んで体験してもらえるよう各種目には参加賞として違った景品を用意しました。

また、第七小学校のPTA・教職員の皆さんと、おそきの学校と地域を考える会にもご協力をいただき、PTAには射的と金魚すくい、教職員の皆さんには七小校舎裏の池でザリガニ釣りを、考える会にはポップコーン・綿あめの屋台を出していただきました。

当日は天気にも恵まれて過ごしやすいい日となりました。最も心配していたのは人出でしたが、ふたを開けてみれば老若男女問わず多くの住民が来場され、種目によっては参加賞が足りなくなるほど盛況でした。各種目の終了後には七小生徒有志による七小ソーランが披露され勇壮な演技にアンコールの声が上がり、締めめの抽選会には324名（投入された抽選券の枚数）の方が参加され、最後まで大盛り上がりとなりました。



参加者の様子（射的）

運営側・参加側それぞれにとって、催し自体が負担にならないよう、午後1時過ぎには終了という短い時間での開催でしたが、地域の皆さんが楽しく過ごせたようで何よりでした。

小曾木スポレクフェスタは、無理なく小曾木地区の住民が集まって交流できる場として今後も継続して開催して行きます。



## 第6支会 富岡自治会活動報告

当自治会内には、植栽してから20年経つ桜並木があります。幅6m×長さ120mに渡り25本の桜が並んでいます。桜の隣は、並行して成木川が流れており、それはそれは静かで落ち着く所です。花見をするには持ってこいの場所です。

ところが、今まで個人的に花見をしていたグループはありましたが、自治会組織として花見を開催したことはありません。

桜並木は富岡地区の財産です。20年前に桜を植えてくださった先輩の方々に感謝しつつ、今年は役員その他有志と相談して、花見を企画しました。

東京都より『東京都地域の底力発展事業助成金』をいただき、自治会の資金と合わせて物品（ブルーシート・座椅子・寸胴・BBQセット・食材・飲み物）を購入しました。また、BBQ用に串ものを加工したり桜の下を除草したりと、前準備も滞りなく済ませました。

しかし花見予定日は、あいにく雨でした。1週間順延しましたが、その日はとても良い天気でした。なお、当日は回覧・ロコミ等の宣伝もあり、地元高齢者クラブの方々、ご家族連れの方々、中学生などの学生グループ、どこから聞きつけたのか他の地域の皆様等、多くの人達にご参加いただきました。

当初70人前後と予想していましたが、実際には120人を超える参加者が来場されました。地元の皆様にはたいへん好評をいただき、スタッフ一同来年への励みとなりました。来年以降も年間行事として計画していくつもりです。

来年は、もう少し規模を大きくするつもりです。





## 敬老の日を送る

第7支会 成木3丁目自治会

成木3丁目自治会では毎年“敬老の日”に75歳以上の方お一人お一人に“お祝いのお手紙”を添えた“鉢花”をお渡ししています。

十数年前から行われるようになった活動で、みなさまにとっても喜ばれています。

お花はお一人ずつ直接手渡しするようしており、その理由は“お元気で生活されていること”の確認と、なによりお渡しした時の“笑顔のお返し”が自治会活動の励みとなるからです。

受取られた方の中には大切に育てられ、毎年花を咲かせて楽しんでおられる方も多くいらっしゃいます。

この活動は今後も末永く続けていきたいと思っています。



# 第八支会 ささえあいフェスティバル

第八支会支会長 高 橋 誠

第八支会では、東青梅市民センターにおいて3年ぶりにささえあいフェスティバルを令和4年10月15日（土）と16日（日）に東青梅市民センター文化祭とあわせて開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、検温などの後、入場者にはリストバンドを着用していただくなど、従来とは違った受付方法としました。

また、会場内での飲食の提供は控えて、代わりに各ブースでは持ち帰りのできる様々な景品を用意しました。

10月15日（土）には、市民センター体育館内で管内の小中学生、保育園児および自治会員有志の方々が制作した作品を展示し、文化祭の市民センター利用サークルなどの作品展示とともに見ていただきました。

翌16日（日）には、体育館の展示に加え、市民センター敷地内で地元の保育園児によるオープニング演奏に始まり、ダンスなどの各種演目や青少年対策第八支会地区委員会によるおもちゃの金魚すくいなど、各参加団体が大人も子どもも楽しめる趣向を凝らした催し物を行いました。

また、管内の自治会に加入している世帯を対象に、空くじなしのガラポン抽選会も行い、特賞目指して盛り上がりました。

天気にも恵まれ、両日併せて1,300人以上の方が来場し、思い出に残る秋の一日となりました。

この模様は、Y o u T u b eの「第八支会チャンネル」で配信していますので、ぜひご覧ください。



自主防ブース展示



お菓子すくい



ガラポン抽選会



A E D実演・体験

# 第八支会学校連携授業

第八支会支会長 高橋 誠

第八支会では、平成29年度から自治会長および自治会長経験者で構成している「第八支会子どもたちに地域の歴史と文化を伝える会」が管内の小中学校に赴き、出張授業を行っています。

今年度は、第四小学校、霞台小学校、霞台中学校および吹上中学校において授業を実施しました。

また、地域の方々を対象とした公開授業を、令和4年12月3日（土）に霞共益会館多目的ホールにおいて実施し、約30名の方の参加がありました。

内容は、小学校向けの資料を使って学区域の地形や歴史のあらまし、縄文の土器・石器、虎柏神社のお殿入り祭、春日神社の獅子舞、市内のよもやま話についてお話ししました。

この模様は、Y o u T u b eの「第八支会チャンネル」で配信していますので、ぜひご覧ください。



支会長あいさつ



講演風景

# ハロウィーンイベントの開催

新町五・六丁目自治会 会長 山口 修司

令和4年度の新町五・六丁目自治会のお祭りは、ハロウィーンイベントとして開催致しました。

1. 開催日時 令和4年 10月30日(日) 13時00分～16時00分
2. 開催場所 新町クラブ(子育て支援センターの場所)及び青梅こども未来
3. 開催内容
  - ・仮装
  - ・スタンプラリー
  - ・屋外ゲーム: 輪投げ、ベーゴマ
  - ・室内ゲーム等: ルービックキューブ、知恵の輪、けん玉、お手玉、マナー豆(箸で豆を移動させるゲーム)、塗り絵、その他ゲーム
  - ・駄菓子、飲み物の配布
4. 参加人数 スタンプラリーの参加者が92名  
保護者を含めて約130名、スタッフを加えて約160名

※参加していただいた方には、十分に楽しんでいただけたものと思っています。

室内の様子



スタンプラリー台紙



屋外の様子





## 子供たちへクリスマスプレゼント

末広二丁目自治会

末広二丁目自治会子供クラブは、令和4年12月18日に地区の子供たち50人（希望申込者）にクリスマスのプレゼントを行いました。

コロナ前は「子供クラブお楽しみ会」の開催をしていましたが、昨年からはプレゼント企画に変更し、感染防止策を行い2時間にわたりお渡しすることができました。



# 第10支会ビーチボール大会

青梅市自治会連合会第10支会

支会長 嶋田 稔

## ○3年ぶりに開催した「ビーチボール大会」

第10支会では、8月にファミリーゴルフ大会、10月に運動会、11月にビーチボール大会などの体育事業を実施していますが、令和4年度はファミリーゴルフ大会と運動会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。

11月27日（日）に予定しているビーチボール大会についても開催の可否について協議してきましたが、コロナ禍対策を充分施したルールに改めることにより、開催が可能ではないかとの意見があり、一部ルールを改めて3年ぶりに開催することができました。

コロナ禍対策として、電子ホイッスルの使用、体調記録シートを作成し1週間分の体調記録の提出、ロスタイムを減らすため、男女比を問わないチーム編成とする。1試合を2セットに減らし、2セット終了時点で1勝1敗の場合は総得点で勝敗を決定する。総得点も同点の場合はジャンケンで勝敗を決定する。昼食時間を設けず時間短縮を図る。などのルールを変更して、開催に臨みました。

開催当日は、28チーム、146人の参加がありました。例年よりもチーム数、参加者数ともに少ないですが、3年ぶりのビーチボール大会のため、皆さん思い思いに楽しみ、汗を流していました。

今回は、コロナ禍でもあるため、参加賞として時節柄、不織布マスクを参加者全員に配布しました。また、試合終了後、今までにない試みとして、特別企画「お楽しみ抽選会」を実施し、抽選により豪華景品が当たるなど、会場は大いに盛り上がりました。

また、試合終了後、アンケート調査を実施しました。調査の結果、大会のルールについては、今後もこのルールでよいとの回答が多数を占め、特別企画「お楽しみ抽選会」も楽しみが増えてよかったなどの回答がありました。

今回のビーチボール大会が実施できたことは、コロナ禍の中でも工夫次第で事業を実施できることの実証にもなり、今後の事業実施に向けての大きな足掛かりになったことは言うまでもありません。



入念に準備体操を行いました



大盛況だった「お楽しみ抽選会」



白熱した試合が行われました

# 河辺町4丁目自治会活動紹介

第10支会 河辺町4丁目自治会長 立山 未人

## ○新しい生活スタイルの中で開催した「2022、夏ミニフェスティバル」

コロナ感染拡大防止の関係で地域の行事等のほとんどが中止の状況であった事、またステイホームが増えコミュニケーションの機会が減少している中、会員同士の顔の見える場を提供する為、7月16日(土)、2年ぶりとなる「2022、夏ミニフェスティバル」を開催しました。

開催するにあたっては、保健所のアドバイス等を受け、感染防止対策を徹底し安心して御来場いただくための方策を講じて実施しました。

会場では、お囃子・輪投げ・カラオケ・焼きそば模擬店と2時間弱と短いイベントであったが、特に暫くぶりに来場者を前に日頃の練習成果を披露していたお囃子の子供達の顔が生き生きと感じられました。また、輪投げでは大人顔負けのスコアを出す子供もいて周りからも大変好評でした。

終息が見えないコロナ禍の中でのイベントであったが、検証を行いながら今後の事業に活かして行きたいと考えております。



## ○地域の底力発展事業を活用した「高齢者向けスマートフォン教室」の開催

市のデジタル回覧版をはじめ、社会的にデジタル化が進んでいる現状に合わせ11月5日(土)、スマホの使い方还不慣れな方を対象に、高齢者向けスマートフォン教室を開催しました。

参加者の中には、ガラケーからスマホに変更した方など汗を掻きながらインストラクターのアドバイスを受けて操作取得に取り組んでいました。

今後も自治会活動の一環としてデジタル化に対応できるよう取り組んでいきたいと考えております。





## 第11支会

# 『藤橋地区市民運動会』

藤橋自治会連合会 会長 篠田昌信

藤橋地区市民運動会は、令和元年度の台風による中止以降、新型コロナウイルス感染症の影響により3年連続で開催されておりました。

本年5月、新型コロナウイルスの感染拡大防止の行動制限が解除されたことに伴い、連合会役員で「まず第一歩を踏み出すにはどのような形で進めればよいか？」協議・検討を進めるとともに、スポーツ推進委員、各地区体育委員、地域関係団体等との意見交換を重ねた結果、今までの地区市民運動会を「ファミリーゴルフ大会」として開催することに決定いたしました。なお、大会当日は感染防止対策を行い、110名以上の参加があり、来賓の方々も迎え、多くの参加者が「ホールインワン賞」をはじめとする賞品を手にするなど、賑やかで楽しく、3年ぶりのコミュニケーションの場となりました。

来年度どのような形になるかは分かりませんが、新型コロナに負けず、地域の皆さんとの繋がりを途絶えさせないきっかけになればと思います。



▲プレーの様子



▲表彰式の様子



# 今井地区花火大会

～コロナに打ち勝つ～

今井自治会連合会 会長 森谷 繁

今井自治会連合会では、10月8日土曜日の夕刻「コロナに打ち勝つ」と題し、約30分間に亘り、今井小学校の校庭に煙火筒を置いて、35発を打ち上げる花火大会を実施しました。本来であれば、東隣にある「今井ふれあい公園」で、多くの方々に、くつろいで観て頂きたかったのですが、コロナ禍の中でしたので、三密を避けるため、広場は立入禁止にせざるを得ませんでした。コロナ禍が終息した際には、公園を利用して、皆様にくつろいで観て頂く所存です。

花火大会の準備は、7月上旬から始めました。今井自治会連合会副会長の石井 功氏を実行委員長として、今井自治会連合会とは別に、今井花火大会実行委員会を組織しました。今井消防団・藤橋消防団・交通安全協会・婦人部・環境美化委員・スポーツ浮島会・浮島神社総代・長寿会・今井小PTA、そして一般サポーターに参加して頂き、準備会議を開催し、一致協力して花火大会の成功を目指しました。

打ち上げ当日の安全対応と翌日の清掃作業には、各自治会役員を含めると、全体で100名近い方の御協力で、いつまでも記憶に残る花火大会になりました。



▲打ち上げ前のサポーターとの打ち合わせの様子

▼打ち上げの様子



## 令和5年度地域の底力発展事業助成の募集を行います！ ～令和5年度からはWEB フォームで申請書をラクラク作成～

東京都は、地域活動の担い手である町会・自治会が主催して行う地域の課題を解決するための取組（催し・活動等）を支援するため、「地域の底力発展事業助成」を実施します。

### 事業の概要

- 1 対象団体 都内に所在する町会・自治会
- 2 対象事業（事業例は裏面をご参照ください。）
  - (A) 地域の課題解決のための取組
  - (B) 都が取り組む特定施策の推進につながる取組4区分
    - 防災・節電活動●青少年健全育成活動●高齢者等の見守り活動●防犯活動
  - (B—S) 都が緊急に取り組むべき特定施策の推進につながる取組
    - ① 多文化共生社会づくり ② デジタル活用支援
  - (C) 複数の単一町会・自治会が共同して実施する地域の課題解決のための取組
  - (D) 単一町会・自治会が他の地域団体と連携して実施する地域の課題解決のための取組
- 3 助成限度額
  - 対象事業 (A) (B) 単一町会・自治会は20万円、地区連合町会は100万円
  - 対象事業 (C) 単一町会・自治会（共同）50万円
  - 対象事業 (D) 単一町会・自治会（連携）30万円
- 4 募集期間

募集回	募集期間	交付決定時期	申請できる事業の実施時期
第1回	受付期間：令和5年3月1日（水）～3月8日（水） ※原本提出締切り：3月14日（火）午後5時（必着）	4月上旬	4月1日以降に実施する事業
第2回	受付期間：4月3日（月）～5月15日（月） ※原本提出締切り：5月31日（水）午後5時（必着）	7月上旬	7月10日以降に実施する事業
第3回	受付期間：6月1日（木）～8月10日（木） ※原本提出締切り：8月31日（木）午後5時（必着）	10月上旬	10月10日以降に実施する事業
第4回	受付期間：9月1日（金）～10月20日（金） ※原本提出締切り：11月2日（木）午後5時（必着）	12月上旬	12月10日以降に実施する事業

令和5年度募集から、WEB フォームに入力していただくだけで、PCやスマートフォンからかんたんに申請書作成を行うことができる「申請サポートプラス」の運用を開始します。

★事業の詳細や「申請サポートプラス」へのアクセスは東京都生活文化スポーツ局のHPからご確認ください。

<http://bit.ly/2uV9HZU>



地域の底力

検索

\*「地域の底力」で検索してアクセスできます。

### 《お問合せ先》

東京都 生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当  
 電話：03-5388-3166 FAX：03-5388-1331  
 メールアドレス：S1121202@section.metro.tokyo.jp

### (1) 餅つき大会を通じた世代間交流・多文化共生社会づくり事業

#### 【主な事業内容】

町内会の世代間交流を図るため、町内の老人会、子ども会、ボランティアなどとも協力し、餅つき大会を実施。会場入口で町会・子ども会への加入促進パンフレットを配布するとともに、会場内で町会の活動をパネルで紹介。町内の日本語学校の生徒に餅つき大会への参加を呼びかけ、町内住民には多文化共生チラシを個別に配布。

#### 【助成対象】

餅つき材料、豚汁食材、会場の養生に必要なブルーシート、ワイヤレスマイク など

### (2) デジタルを活用した加入促進

#### 【主な事業内容】

チラシや回覧板で、町会活動の記事作成者を募集し、記事作成者とともに町会活動やイベントの動画を制作の上、YouTube にアップロード。

制作した動画へアクセスできる二次元コードを印刷したチラシを地域住民へ配布。動画を見てもらうことで町会活動を広く周知し、加入促進につなげる。

さらに地域住民を対象に、YouTube の視聴方法を学ぶ講習会を実施する。

#### 【助成対象】

撮影用カメラ、プロジェクター、スピーカーフォン、チラシ印刷費 など

### (3) 2町会合同の防災訓練

#### 【主な事業内容】

2町会合同で防災訓練を実施する。

一時避難所で避難者名簿を作成し、避難者と町会役員から被災・安否情報を収集する。

地震発生時の避難方法、土のうづくり・炊き出しの作業手順を図示した資料を配布、説明する。また、車いす体験として、段差や狭い避難所内の移動、車いすの操作と実車を体験してもらう。

#### 【助成対象】

屋外用簡易テント、スタッフ用ベスト、名入りボールペン、消毒液 など

### (4) NPO と連携した高齢者の見守り活動

#### 【主な事業内容】

NPO 法人と連携し、高齢者見守り隊を結成し、専門家を招いた「見守り講習会」を開催する。高齢者見守り隊はスタッフ用ジャンパーを着用して、定期的に会員宅を個別訪問・声掛けを実施する。

また、毎月1回、健康情報・防災や防犯に役立つ情報を掲載した「見守りニュース」を作成・配布する。

自治会は、チラシの作成、高齢者見守り隊の取りまとめを担当し、連携するNPO 法人は、訪問時の対応方法について、アドバイス等を行う。

#### 【助成対象】

スタッフ用ジャンパー、広報用チラシ印刷、会議室使用料、事務用品 など





青梅市自治会・支会活動事例集  
(令和4年度版)

令和5年3月発行

編集・発行：青梅市・青梅市自治会連合会

問合せ：青梅市市民安全部市民活動推進課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111 (内線 2322)

青梅市 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp>

メールアドレス：div0940@city.ome.lg.jp

青梅市自治会連合会 HP <https://www.ome-rengou.jp>